

令和5年度 第12回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和5年11月8日（木）16:00～17:30

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：6 名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)、新垣真太郎（沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班主任）、伊藤ゆり(大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長准教授)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター診療情報管理士)

欠 席：4 名

有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)

井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)

東尚弘(東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授)

平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)

陪 席：1 名

西佐和子（琉大病院がんセンター事務）

【報告事項】

1. 令和5年度 第11回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料1に基づき令和5年度第11回ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。基本方針については、前回の会議の協議結果をふまえて修正し、11/9までに委員の皆さんに確認を得たい。次回の部会で最終的なたたき台を作成したいとのことだった。

2. その他

特になし。

【協議事項】

1. 医療者調査

（1）各分野の質問数について

増田部会長より、資料2・4に基づき、第11回部会の質問内容についての意見と、分野ごとの質問数について説明があった。前回の部会で62個の質問を提案したが、委員の皆さんの意見を参考にした結果、質問数が29個となったとの報告があった。A4サイズ4ページ（A3裏表）に収まる質問数であること。第1回調査の質問数24個より多くて4～5個程度しか増やせない。そして主にWeb調査になることをふまえて、予防・検診分野の

質問を省くことになった。他にも質問を省いた分野があり、資料4では青字で表記、複数の質問がある分野は、赤字で表記しているとのことだった。

埴岡委員より、緩和・支持療法の③リハビリテーション④支持療法、基盤の②人材育成の強化の3点に関しては、医療者調査の位置づけも非常に大切で大事なところであるとの意見があり、復活を含めて検討されてはどうかと提案があった。

(2) 質問内容について

増田部会長より、資料3に基づき、前回の部会の意見を参考に改定した質問内容について説明があった。

➤ がん医療提供体制①医療提供全般

【新規】1 今年担当した患者で、治療方針（告知等）の説明を行った患者の数は？

【新規】2 その際に、医師以外の職種も参加した患者の数は？

埴岡委員より、工夫されて改定されたと思うが、他の質問と聞き方が違う。分母分子を聞くなれば他もそうなので、割合で聞いた方がいい。また割合で問う時に選択肢が①0～24%②25～49%③50～74%④75～99%⑤100%、①0%②1～5%③5～10%④11～20%⑤21～50%⑥51～100%、とあるが、これはそのものの普及度を勘案して刻み方を変えてると思うが、回答者が錯覚がないように注意が必要であるとの意見があった。伊藤委員より、割合の振り方だが、答えが100だと思われる質問に関しては「100」。答えが「0」もありえるかもしれない質問については「0」という項目を作っておくイメージでよいのではないかとの意見があった。

➤ がん医療提供体制④手術療法

【新規】あなたは外科医の不足を感じていますか？（医師と看護師のみ）

伊藤委員より、質問数を減らしていく必要があるならば、どう評価に使うのか分からないところであれば省いてしまってもよいのではないかという意見があった。埴岡委員よりあまり外科医不足が大きな念頭ではなかったら、むしろ中間アウトカムの外科手術が質が高く安全かということの概念に一番近い問題意識のあるところ、外科における最大課題を聞いた方がいいのではないかという意見があった。

➤ がん医療提供体制⑥医療実装

【新規】沖縄県では、保険が通った新しい治療法（薬、医療機器など）の実際の患者さんへの導入が遅いと感じていますか？（5 択）

埴岡委員より、もう少し追い込んだ上での5択ならよいが、回答者からすると遅いか早いか知らんよ、という話にならないか。具体的に「新規承認薬の病院レジメン登録が遅れることがあると感じてますか？」「ガイドラインにのった新規承認薬などが、あるいは治

療法がレジメン登録等が遅れることがありますか？」という聞き方が分かりやすいのではないかとの意見があった。

➤ 緩和・支持療法⑤妊孕性温存療法

【新規】（今年担当した患者で）妊孕性温存療法が必要な患者のうち、実際に妊孕性温存療法を行った患者は何%ぐらいか？①0～24%②25～49%③50～74%④75～99%⑤100%

増田部会長より、実際に行なった患者で聞いているので、もしかしたら%の取り方が0からにした方がいいのかもしれないとの説明があった。

➤ 共生②情報提供

【改定】今年担当した患者を、より専門的な医療機関へ紹介するときに、情報が足りないと感じる割合は？①0～24%②25～49%③50～74%④75～99%⑤100%

埴岡委員より、より専門的な医療機関へ紹介する情報が足りないかというとても狭いところを聞く設問なのかと質問があった。中間アウトカムは情報提供で「患者やその家族が、医療者から十分な情報を得ることができている」で、患者側に聞いているのは「治療決定までに医療スタッフから十分な得られたか」と、この裏側を聞くので「ちゃんと話してますか？」となるのではないかとの意見があった。

2. 次回ベンチマーク部会開催日程について

3. その他

特になし。